



伊丹市立幼児教育センター通信

# ときめき ひらめき

Vol 29 (令和8年3月)  
発行: 伊丹市立幼児教育センター  
住所: 伊丹市千僧 1-1  
電話: 072-780-2488  
アドレス: youkyosenta@city.itami.lg.jp

## ★『子どもは”安心”の中で学び、成長する』～幼小接続シンポジウムから～

昨年12月に、泉大津市立楠小学校 教頭 竹野 乃利子先生を講師に、幼小接続シンポジウムを行いました。体験型の講演で、「1年生への模擬授業」をしてくださいました。一部を紹介します。

スタカリの「グループゲーム」 遊びの要素の中には学びがいっぱい!!

ポイントは、教科の評価につなぐ意識をもって仕組むこと。



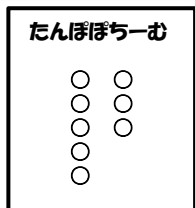
❁ ひらがな なあに? 文字を紙で隠してチラ見せ。「し?」「も?」...こたえは「し!」「しりとりやろう! しりとり・りんご・ごりら・らっぱ...手を打ちながら音韻を意識。「ちゃっく」「しゃっくり」ねじれてつまる音も動作と連動して意識付け。語彙が増え、言葉が豊かに。



❁ 紙コップ4つの中に人形ひとつ。動かして、どーこだ?...「2番目!」「どっちから?」「左から2番目!」...遊びの中で繰り返すと、算数「なんばんめ」の理解につながる。

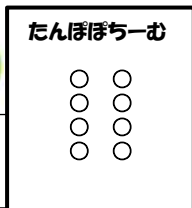


❁ どのチームが勝ったかな。得点を数えよう! 数え方も段階的に、学びの意図を含ませて。折々に「こんな数え方があるんだよ」と提案。(下記)



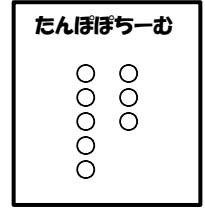
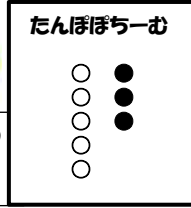
ポイント

点を2個ずつ貼る



ポイント

右の点の色を変える



いち・に・さん・し・ご・ろく・しち・はち 8てん!



学び 一対一対応

に・一・し・ろ・一・は・ち 8てん!



2とびで数える・2の倍数

5と3で... 8てん!



10までの足し算

ひとつ・ふたつ...~むっつ・ななつ・やっつ 8てん!



国語「かぞえうた」

安心できる場で、体験を通して、「楽しい、やってみたい!」という、子どもにとっての必然性があるからこそ、子どもは楽しく主体的に学ぶことができる。

竹野先生の模擬授業からは、保育との共通点も多くありました。

これからも、地域の小学校と就学前施設がしっかりつながる支えになるよう、幼児教育センターは取り組んでいきます。

## ★架け橋期のカリキュラム(1年生版)が完成しました!!

先日、全就学前施設様あてデータでお送りしました。ご覧いただけましたか?「先生のかかわり方」「環境の構成」など、保育においても大事な視点が満載です。架け橋期のカリキュラム(5歳児版・1年生版)は市のモデルカリキュラムです。今後はこれを参考に、各就学前施設・小学校が協働し架け橋期の教育の充実につなげましょう。

内容を一部紹介します

やってみましょう!全ての先生方で確認できることが  
望ましい事項についての「チェックリスト」(抜粋)

【幼保小の切れ目ない学びを実現できるように】

- 架け橋期カリキュラム(5歳児版)を確認した。
- 特に「生活科」を中心とした「合科的・関連的」な指導が重要であることを確認した。(右参照)

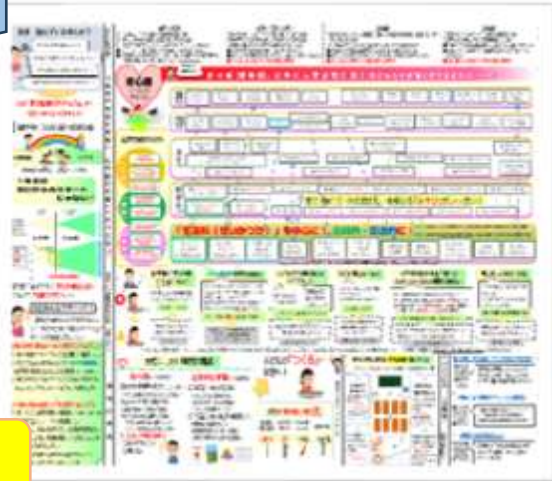
【より強い「安心感」を子どもが持てるように】

- 特に入学当初は柔軟な時間割(15分単位で考える等)の設定が望ましいことを確認した。

就学前に、小学校の「先取り」を到達目標として求めることは、発達段階として望ましいと言えないことを確認した。

Ex:「文字の読み書きや計算をある程度できるように」「45分間じっと座っていられるように」等

この点は就学前施設も押さえるべきポイントです



## ★おススメ保育専門書 ☆紹介の書籍は貸本として幼児教育センターにあります。是非ご利用ください。



配慮が必要な子どもの「発達支援百科」

編著:藤原 里美 著:三宅 浩子 久保田真規子 黒葛 真理子  
出版社:中央法規

保育現場の悩みに答えながら発達支援の知識・考え方を解説する Q&A 形式の「百科」です。先日の藤原先生によるご講演の中でも紹介されました。子どもの気になる行動への対応、クラス運営、支援の為のマインド、保護者支援等、あらゆる内容が網羅されています。



0歳から5歳児 子どもの姿からつくる

「これからの指導計画」

編著:大豆生田 啓友 出版社:チャイルド本社

これまでの活動予定中心の「書き写す」指導計画から、目の前の子どもの姿に即した指導計画へと指導計画を変えてきた実践事例と、そのつくり方を丁寧に紹介します。これからの指導計画のヒントとなる1冊です。

## ★アドバイザー通信 「思いをつなぐ～だから保育は素晴らしい～」

・先日ある保育施設の訪問に出かけました。ちょうど3月のひな祭りの日で、一人の子どもが粘土でひな人形を作っていました。一生懸命作り上げたその子どもの様子に、担任の先生は素敵なお盆を見つけテラスで泥団子を作っている子どものもとに……。しばらくすると、階段下のある場所に一つのコーナーが出来上がり、ひな団子?とひな人形がかわいく飾られていました。それぞれで好きな遊びを展開している様子を、こうやって自然と繋いでいって素晴らしいなと感じました。きっと、これを作った子どもたちはお迎えの時に保護者との会話がはずんでいたのでしょうね。

幼児教育センター 中務 葉子

## ★お知らせ★

・3/27(金)の夜間の開館はありません。

・【夜間開館について】これまで第2・4金曜日に実施しておりましたが、令和8年度より定期的な夜間開館は終了し、金曜に限らず個別に対応いたします。相談や貸出等、夜間のセンター利用希望は、事前に電話やメールでお気軽にご連絡ください。